



平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年8月6日

上場会社名 株式会社九州リースサービス 上場取引所 福  
 コード番号 8596 URL <http://www.k-lease.co.jp>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)藤丸 修  
 問合せ先責任者 (役職名)常務執行役員業務本部長 (氏名)山下 伊佐夫 TEL (092)431-2530  
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月11日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	5,440	△9.9	769	1.4	758	△8.6	285	△39.1
22年3月期第1四半期	6,037	△38.5	758	△47.0	830	△39.4	469	10.8

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第1四半期	9 17	—
22年3月期第1四半期	14 94	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第1四半期	129,469	15,848	12.2	508 17
22年3月期	133,354	15,811	11.8	506 99

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 15,836百万円 22年3月期 15,800百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0 00	—	7 50	7 50
23年3月期	—				
23年3月期(予想)		0 00	—	7 50	7 50

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
第2四半期(累計)	10,000	△14.1	900	△20.1	700	△41.0	200	△42.4	6 42	
通期	21,000	△8.4	2,100	△4.2	1,700	△16.1	700	△3.9	22 46	

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は【添付資料】P. 3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

(注)当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表作成に特有の会計処理の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注)「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

23年3月期1Q	37,143,374株	22年3月期	37,143,374株
23年3月期1Q	5,979,221株	22年3月期	5,978,891株
23年3月期1Q	31,164,446株	22年3月期1Q	31,386,096株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。なお、予想数値に関する事項は、四半期決算短信（添付資料）3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1.	当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1)	連結経営成績に関する定性的情報	2
(2)	連結財政状態に関する定性的情報	2
(3)	連結業績予想に関する定性的情報	3
2.	その他の情報	3
(1)	重要な子会社の異動の概要	3
(2)	簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3)	会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3.	四半期連結財務諸表	4
(1)	四半期連結貸借対照表	4
(2)	四半期連結損益計算書	6
	【第1四半期連結累計期間】	6
(3)	四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4)	継続企業の前提に関する注記	8
(5)	セグメント情報	8
(6)	株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
4.	補足情報	10
	営業資産残高（連結）	10

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善によって景気は回復傾向にあるものの、設備投資需要の低迷が続くなど依然として厳しい経営環境にあります。

このような中、当社グループでは良質資産の積み上げによる安定収益基盤の構築を目指すとともに、有利子負債の削減など財務体質の強化にも取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における経営成績は、リース部門の資産残高減少などにより売上高は5,440百万円(前年同期比9.9%減)となりましたが、不動産売却収益の増加や資金調達コストの減少などにより、営業利益は769百万円(前年同期比1.4%増)となりました。一方、経常利益は前年同期に比べ投資有価証券売却益が減少したことなどにより758百万円(前年同期比8.6%減)となり、更に賃貸不動産に対する減損損失などの特別損失を計上した影響で、四半期純利益は285百万円(前年同期比39.1%減)となりました。

セグメントの業績の概要は以下のとおりであります。

① リース・割賦

リース・割賦実行高は3,708百万円(前年同期比64.7%増)となりましたが、リース部門の資産残高減少により売上高は2,710百万円となり営業利益は224百万円となりました。なお、リース債権及びリース投資資産残高は19,551百万円(前期末比4.1%減)、割賦債権残高は11,153百万円(前期末比5.0%増)となりました。

② 融資

新規貸出の抑制に伴う営業貸付残高の減少により売上高は391百万円となり、営業利益は180百万円となりました。なお、営業貸付金残高は32,286百万円(前期末比8.2%減)となりました。

③ 不動産

前連結会計年度から新たに連結した子会社からの増収効果もあり、売上高は2,005百万円となり、営業利益は450百万円となりました。なお、賃貸不動産残高は37,356百万円(前期末比1.5%減)、販売用不動産残高は7,207百万円(前期末比7.3%減)となりました。

④ フィービジネス

生命保険の代理店手数料や不動産投資案件の減少などにより売上高は93百万円となり、営業利益は38百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は129,469百万円(前期末比2.9%減)と前連結会計年度末に比べ3,885百万円の減少となりました。これは主にリース債権及びリース投資資産の減少840百万円、営業貸付金の減少2,867百万円などであります。

負債合計は113,621百万円(前期末比3.3%減)と前連結会計年度末に比べ3,922百万円の減少となりました。これは主に借入金の減少2,909百万円、社債の減少667百万円などであります。

純資産合計は15,848百万円(前期末比0.2%増)と前連結会計年度末に比べ37百万円増加いたしました。

(キャッシュ・フローの状況)

営業活動によるキャッシュ・フローは4,137百万円の資金流入となり、投資活動によるキャッシュ・フローは249百万円の資金流入となりました。また、財務活動におけるキャッシュ・フローは3,834百万円の資金流出となったことから、当第1四半期連結会計期間における現金及び現金同等物は前連結会計年度末に比べ551百万円増加し11,979百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、収入面ではリース債権及びリース投資資産の減少831百万円、営業貸付金の減少2,226百万円、販売用不動産の減少568百万円、賃貸不動産の譲渡による収入285百万円などが主要なものであり、また支出面では割賦債権の増加555百万円などが主要なものであり、全体では4,137百万円の資金流入となり、前第1四半期連結会計期間に比べ3,607百万円の収入増となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の売却及び償還による収入271百万円、社用資産の取得による支出13百万円などが主要なものであり、全体では249百万円の資金流入となり、前第1四半期連結会計期間に比べ18百万円の収入増となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金残高の減少や、社債の償還による支出667百万円などが主要なものであり、全体では3,834百万円の資金流出となり、前第1四半期連結会計期間に比べ4,602百万円の支出減となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、平成22年5月17日発表の業績予想から変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

1. 貸倒見積高の算定につきましては、前連結会計年度で用いた貸倒実績率を使用しております。
2. 販売用不動産の簿価切下げにつきましては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積る方法を採用しております。
3. 繰延税金資産の回収可能性の判断につきましては、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックスプランニングに重要な変更を加味したものを利用しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

会計処理基準に関する事項の変更

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、営業利益及び経常利益に与える影響は軽微であり、税金等調整前四半期純利益は4百万円減少しております。

表示方法の変更

(四半期連結損益計算書関係)

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）に基づき財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令（平成21年3月24日 内閣府令第5号）の適用に伴い、当第1四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目を表示しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,069	11,518
割賦債権	11,153	10,627
リース債権及びリース投資資産	19,551	20,391
営業貸付金	32,286	35,153
貸貸料等未収入金	248	318
有価証券	—	39
販売用不動産	7,207	7,775
その他	2,258	2,230
貸倒引当金	△1,739	△1,798
流動資産合計	83,035	86,255
固定資産		
有形固定資産		
賃貸資産		
賃貸不動産(純額)	37,356	37,919
その他(純額)	9	10
賃貸資産合計	37,365	37,930
社用資産	1,410	1,427
有形固定資産合計	38,776	39,357
無形固定資産		
投資その他の資産	687	765
投資有価証券	4,255	4,497
その他	2,726	2,490
貸倒引当金	△11	△11
投資その他の資産合計	6,969	6,976
固定資産合計	46,434	47,099
資産合計	129,469	133,354

(単位:百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	697	727
短期借入金	66,301	66,296
1年内償還予定の社債	1,934	1,934
未払法人税等	25	51
引当金	69	123
その他	2,461	2,503
流動負債合計	71,490	71,637
固定負債		
社債	4,916	5,584
長期借入金	31,752	34,667
引当金	304	292
その他	5,156	5,361
固定負債合計	42,130	45,906
負債合計	113,621	117,543
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,933	2,933
資本剰余金	822	822
利益剰余金	14,780	14,728
自己株式	△2,381	△2,380
株主資本合計	16,155	16,103
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△114	△78
繰延ヘッジ損益	△203	△225
評価・換算差額等合計	△318	△303
少数株主持分	12	11
純資産合計	15,848	15,811
負債純資産合計	129,469	133,354

(2) 四半期連結損益計算書

【第1四半期連結累計期間】

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	6,037	5,440
売上原価	4,673	4,032
売上総利益	1,363	1,407
販売費及び一般管理費	604	637
営業利益	758	769
営業外収益		
受取利息	19	18
投資有価証券売却益	139	38
その他	24	33
営業外収益合計	183	90
営業外費用		
支払利息	96	85
投資有価証券売却損	—	8
その他	15	7
営業外費用合計	112	101
経常利益	830	758
特別損失		
賃貸不動産売却損	—	40
減損損失	—	91
投資有価証券評価損	—	7
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	4
特別損失合計	—	143
税金等調整前四半期純利益	830	614
法人税、住民税及び事業税	3	18
法人税等調整額	357	310
法人税等合計	360	328
少数株主損益調整前四半期純利益	—	286
少数株主利益	0	0
四半期純利益	469	285



(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	830	614
減価償却費	246	243
減損損失	—	91
賃貸不動産売却損益（△は益）	—	40
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	4
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△31	△1
引当金の増減額（△は減少）	△77	△42
受取利息及び受取配当金	△26	△32
資金原価及び支払利息	587	533
投資有価証券評価損益（△は益）	—	7
投資有価証券売却損益（△は益）	△139	△30
割賦債権の増減額（△は増加）	718	△555
リース債権及びリース投資資産の増減額（△は増加）	1,496	831
営業貸付金の増減額（△は増加）	△555	2,226
販売用不動産の増減額（△は増加）	223	568
賃貸資産の取得による支出	△1,493	△48
仕入債務の増減額（△は減少）	△1,377	△30
賃貸不動産の譲渡による収入	—	285
その他	655	△56
<b>小計</b>	<b>1,056</b>	<b>4,649</b>
利息及び配当金の受取額	9	14
利息の支払額	△531	△501
法人税等の支払額	△4	△25
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>529</b>	<b>4,137</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
社用資産の取得による支出	△9	△13
無形固定資産の取得による支出	△12	△1
投資有価証券の取得による支出	—	△6
投資有価証券の売却及び償還による収入	258	271
その他	△6	△1
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>230</b>	<b>249</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△1,447	291
長期借入れによる収入	2,070	3,350
長期借入金の返済による支出	△5,588	△6,551
社債の償還による支出	△3,066	△667
自己株式の取得による支出	△105	△0
配当金の支払額	△211	△208
その他	△87	△48
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△8,437</b>	<b>△3,834</b>
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△7,676	551
現金及び現金同等物の期首残高	12,668	11,427
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,991	11,979

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント】

前第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

	リース事業 (百万円)	融資事業 (百万円)	不動産事業 (百万円)	フィー ビジネス 事業 (百万円)	その他 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高及び営業損益								
売上高	3,482	408	1,770	177	197	6,037	—	6,037
営業利益 (△営業損失)	141	269	332	141	△1	883	(124)	758

(注) これら事業区分に属する主な内容は、次のとおりであります。

事業区分	事業内容
リース事業	機械設備等のリース(リースの満了・中途解約に伴う物件販売を含む)及び割賦販売
融資事業	金銭の貸付、債権の買取
不動産事業	不動産の賃貸、不動産の販売、匿名組合等に対する出資
フィービジネス事業	生命保険の募集、自動車リースの紹介、不動産関連サービスの提供、損害保険代理業等
その他事業	ゴルフ場の管理経営等

【セグメント情報】

（追加情報）

当第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために定期的に検討を行う対象となっているものであります。

リース・割賦セグメントは、機械設備等のリース及び割賦販売、融資セグメントは金銭の貸付及び債権の買取、不動産セグメントは、不動産の賃貸、不動産の販売、匿名組合等に対する出資、フィービジネスセグメントは、生命保険の募集、自動車リースの紹介、不動産関連サービスの提供、損害保険代理業等の事業活動を展開しております。

2 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第1四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	リース・ 割賦	融資	不動産	フィー ビジネス	計		
売上高							
外部顧客への売上高	2,710	391	2,005	93	5,200	239	5,440
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,710	391	2,005	93	5,200	239	5,440
セグメント利益（△損失）	224	180	450	38	894	△5	888

（注） 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ゴルフ場の管理経営、物品販売等を含んでおります。

3 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	894
「その他」の区分の損失（△）	△5
全社費用(注)	△118
四半期連結損益計算書の営業利益	769

（注） 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

営業資産残高(連結)

セグメントの名称	当第1四半期連結会計期間		前連結会計年度	
	期末残高 (百万円)	構成比 (%)	期末残高 (百万円)	構成比 (%)
リース・割賦				
ファイナンス・リース	19,551	19.2	20,391	19.3
オペレーティング・リース	9	0.0	10	0.0
リース計	19,561	19.2	20,402	19.3
割賦販売	11,153	10.9	10,627	10.1
リース・割賦計	30,714	30.1	31,029	29.4
融資	32,286	31.7	35,153	33.3
不動産				
オペレーティング・リース	37,356	36.7	37,919	35.9
その他	1,509	1.5	1,512	1.4
不動産計	38,865	38.2	39,432	37.3
合計	101,866	100.0	105,615	100.0

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。